

咲っく南花台 第3回 南花台の未来を考える住民集会

みんなの拠点で やってみたいことを どう実現させる?



※この絵は「やってみたい」で出た意見の、「野菜市」と「ゴルフサークル」を
コノミヤ二階外廊下でやってみたイメージです。

9月19日同時開催!

「まるまるカフェ」

日時: 10:30~12:00

場所: コノミヤ南花台店
みんなの拠点 (予定)

関西大学の学生が企画する気軽にお話
してできる場です! 飲み物やお菓子も用
意しています。南花台について学生と
お話ししてみませんか? (参加費無料)

第3回 南花台の未来を考える住民集会

日時: 9月19日(土) 13:30~15:30

場所: コノミヤ南花台店 2階特設会場

内容

■第2回の議論のおさらいと、「みんなの拠点」の使われ方のイメージを共有する

8月8日の第2回住民集会で出た意見をみんなで振り返ります。

住民の皆様から出た「やってみたい!」を元に「みんなの拠点」の使われ方のイメージを提案します!

■拠点でやってみたい事ごとのテーブルに分かれて、「どうすれば実現できる?」を話し合う

咲っく南花台の各ワーキンググループのテーマ(健康仲間づくり、子育て・育ちなど)に関連させながら出てきた「みんなの拠点」でやってみたい事を、どう行動に移せば実現できるかを考えてみます。

第4回 南花台の未来を考える住民集会

日時: 10月3日(土) 10:00~12:00

場所: コノミヤ南花台店 みんなの拠点(予定)

【南花台スマートエイジング・シティ プロジェクト】とは

『スマートエイジング・シティ』とは、高齢者だけでなく、いろいろな世代の人たちが、健康で自立的に、住み慣れた場所で安心して
快適に暮らし続けることが出来る「まち」です。

このプロジェクトでは、河内長野市、大阪府、大学、民間企業が連携して南花台で『スマートエイジング・シティ』の実現を目指します。

□お問い合わせ□

関西大学 KSDP 団地再編プロジェクト 担当: 倉知 / ☎06-6368-1111 (内線 6720)
河内長野市 政策企画課 担当: 谷ノ上 / ☎0721-53-1111 (内線 340)

主催: 関西大学 KSDP 団地再編プロジェクト / 共催: 河内長野市・大阪府 / 協力: (株)コノミヤ・(株)タニタ・南海電鉄



2015年8月8日（土）に第2回南花台の未来を考える住民集会を開催しました！

テーマ：「みんなの拠点でなにをやりたい？」

第2回南花台の未来を考える住民集会

日時：2015年8月8日（土）13:30～15:30（カフェは10:30～12:00）

場所：コノミヤ南花台店特設会場

【ワークショップで出たみなさんの意見】

◎よいところ ●気になるところ ☆こうなったらいいな

（1）生きがいづくりの場としての「みんなの拠点」でやっていたいこと

- ☆拠点では趣味を披露したり教える事ができ、趣味を共有できる場になってほしい。
- ☆趣味の共有をきっかけに、同じ趣味を楽しむ仲間ができれば嬉しい。
- ☆懐かしい話やこれからの未来の夢を語り合える機会をつくりたい。
- ☆拠点での趣味や会話による4世代交流が進むことで、お互いの刺激が南花台での生活を活発にするのでは。
- ☆老人の積み重ねてきた知識と、若者の柔軟な発想と現代の知恵を出し合うことで、幅広い世代に活力を生んでいきたい。
- 四世代交流も大事だが、同世代同士で語り合うことも大切だ。
- 誰にとってもフラットな場になるために、ここを訪れる全ての人が他人を尊重する心構えを持っている必要がある。

（2）情報発信・共有基地としての「みんなの拠点」でやっていたいこと

- ☆仲間づくりや人材さがしなどの求人情報を載せ、人を集める仲介となるような掲示板をつくりたい。
- ☆「こんな物ありませんか？」「こんなもの探しています」といったことを掲示することで物々交換の場にしたい。
- ☆インターネットラジオを活用して「咲く南花台ラジオ局」を開設し、地域の情報を常時で配信できるようにしたい。
- ☆回覧板もインターネットも見ない人が多くあまり効果が発揮できていないので、拠点で様々な情報が手に入るようにしたい。
- ☆ラジオやメールマガジンを活用することで、防犯上の情報共有にも役立たせることができるのでは。
- 拠点の掲示板が回覧板や咲く南花台.comなどがあるなかで、どのような役目を持つのかしっかり考えなければいけない。
- 拠点での情報に信頼性を持たせるために、情報発信・共有をするための相談役や仲介役となる人を駐在させる必要がある。

（3）子育てと子育てを見守る拠点としての「みんなの拠点」でやっていたいこと

- ☆どの世代の子供たち（乳児、幼児、小中高生）にとっても大事な場所になっていくように努力したい。
- ☆子供たちにも親たちにも、子育て・子育てについて健全で正しい知識や態度を学べる場所にしていきたい。
- 子供の面倒を見てもらえるようになると、最近の親は子育てを任せっきりになりがちだ。
- ☆子育てをする親たちを支えられる体制ができれば、親の負担も軽減し、心にも余裕を作ってあげられる場所にしたい。
- 中高生にとって、みんなの拠点は子供じみた場所に思えて来づらい場所になってしまうのではないかと。
- ☆親の帰宅が遅いなどで、普段寂しい思いをしている子供たちの拠り所となる場所になってほしい。
- ☆南花台の大人たちと子供たちがコミュニケーションをとれるきっかけとなる場所になってほしい。

（4）健康仲間をつくる場としての「みんなの拠点」でやっていたいこと

- ☆タニタの体組成計を誰でもいつでも使用できるようにすることで、健康に対する意識を共有できる仲間をつくりたい。
- ☆拠点だけでなく、各家庭でも活かせる健康知識や情報が集まるような場所にしたい。
- ☆健康的な食事や運動について、正しい知識を学べる機会をつくってほしい。
- ☆ランニングコースやサイクリングコースを仲間と一緒に作る事で、健康意識を高めていきたい。
- ☆一緒に運動する仲間や料理をするサークルが拠点をきっかけに生まれてほしい。
- ☆自宅で眠っている健康道具を持ち寄って、拠点で共有しよう。
- 拠点で活動する中で、ケガや事故が起こることも考えるので、その対処を拠点としてどうするか考える必要がある。

（5）南花台で暮らす中で「みんなの拠点」を運営するために大事なこと

- 住人だけでなく、南花台に関わる団体や企業、大学、市役所が連携をとりながら継続的な運営の体制を整える必要がある。
- ☆みんなの拠点に来ることで、南花台地域に関わるキッカケが生まれる場所になってほしい。
- 特定のグループが拠点を占拠するような事がないように、団体利用の際のルールをしっかりと考える必要がある。
- ☆拠点に常駐する人や立ち寄り人どうしが、気軽に何でも話せて、注意やアドバイスを言い合える環境をつくりたい。
- ☆大学の講義が行われる拠点にもなる事で、他地域で暮らす学生が南花台に関わる仕組みをつくりたい。
- ☆南花台に若い世代が来てくれるために、みんなの拠点がそのキッカケを与える場になってほしい。
- ☆みんなの拠点が南花台に暮らす人々の生の声が集まる場所になってほしい。